

第47回一宮市地域公共交通会議 議事録

【開催日時】

2026年5月29日（金）午前9時30分～

【開催場所】

一宮市役所本庁舎 11階 1101会議室

【傍聴人】

4人

【議事内容】

1. 開会

（副会長の選出について：脇田委員が選出されました。）

2. 議題

（1）市内バス路線等の利用実態について

- ・事務局より資料説明

（質疑応答）

- ・i-バスミニは特定の方が多く利用されているという状況は変わっていないか。
→ 変わらないと考えている

（意見等）

- ・光明寺線の利用者減が目立つ。利用促進について考える必要がある。

（2）第3次公共交通計画目標達成状況の評価について

- ・事務局より資料説明

（質疑応答）

- ・収支率について、経費の増加により落ち込んでいるのはやむを得ないが、目標値自体を変更することは考えていないか。
→ 経費と収入について精査した上で判断していきたいと考えている。（事務局）
→ 利用者の増加による収入の増加の効果、経費の増加による効果について、それぞれ具体的に分析をしていただきたい。その結果に基づいて運賃の値上げ等について議論していく必要がある。（会長）
- ・経費が大きく上がったのは事業者との契約の関係か。
収支率の改善に向けては、利用者増に重きを置いているか、運賃の改定を考えているのか。
→ 経費についてはおっしゃる通り。改善に向けては、現状では利用者の増に取り組みたいと考えているが、限界はあると思っている。値上げについても検討していかなければならないと考えている。（事務局）

(意見等)

- ・対目標値の表について、増減ではなく、高低と表現するほうが正しいと思われる。

(3) 第3次公共交通計画令和7年度最終報告及び令和8年度計画推進について

- ・事務局より資料説明

(質疑応答)

- ・光明寺線、丹陽線の延伸については、地域からの要望があり推進しているものか。道路整備等についてどのような調整がされているのか。
 - 需要についてはある程度あるものと認識している。延伸については、上位計画である「一宮市都市計画マスタープラン」に記載があり、市全体としての動きがあることから、本計画に記載をしているもの。
延伸に向けた協議については、予算的な問題や用地買収等様々な障壁があり、具体的な協議には至れていない。(事務局)
 - 地域間幹線系統の補助金の活用などを考えていくべき。過去より動きがないまま今に至っている。その検討すらないのは残念である。(会長)
- ・おでかけバス手形の本運用に向けた協議とあるが、今後に向け変更点などはあるのか。
 - 名鉄バスと協議の上、これまで価格の改定等を行ってきたところである。令和8年度の値上げにより、価格についてある程度折り合いがついたものと認識しており、この度、満を持して本運用を目指すもの。現状これ以上の変更は考えていない。(事務局)
- ・バスまちば事業について、どのくらいの実施を想定しているか。また、岐阜市ではデジタルサイネージを設置しているが、一宮市でも考えているか。
 - 予算上は10~20箇所程度を想定している。デジタルサイネージについては考えていない。(事務局)
 - 二次元コードのみだとバスを乗り過ごしてしまう可能性もある。運用については事務局と調整していきたい。(名鉄バス)
 - 交通拠点とするのであれば、i-バスミニの接続と紐づけて考えたほうが良いのではないかと。(会長)

(意見等)

- ・タクシー交通圏の一体化については、現在要望をいただき、審査を進めている。具体的な時期は明言できないが、今年度中に一体化が実現するのではないかと考えている。(補足：愛知運輸支局)

(4) 小中学生 i-バス無料ホリデーの結果について

- ・事務局より資料説明

(質疑応答)

- ・ i-バス利用者数の合計について記載があるが、関連性が分からない。
→ おっしゃる通り、当該箇所に関連性はない。(事務局)
- ・ 春休みに実施している理由は。
→ 夏休みはプールの利用など、比較的多くバスを利用いただいている時期である。
春休みは利用が落ち込むため、この時期に実施している。(事務局)

(5) 福祉車両による買い物支援の実施状況について

- ・ 事務局より資料説明

(質問事項)

- ・ 新しい団体の参入の状況はどうか。
→ 団体番号 10、11 など、令和 7 年 8 月から実施されているものもある。

(6) 第 3 次公共交通計画の改定について

- ・ 事務局より資料説明

(意見等)

- ・ 値段を上げたから売れず、計画を改定するというのは、改善を諦めているのと同じである。また、目標を達成できるように改定をしてしまうと、今後多くの方に使われるような方法を考える機会が失われてしまう。まず、改善の方策を考えることが先ではないか。
→ 指標を達成することが目的ではなく、公共交通の利用機会を増加することが目的のはず。まず販売促進に関する施策を検討することが先だと考える。この改定については場当たりのなものを感じる。(追加意見)
- おっしゃる通り、計画の改定の前に利用促進の施策について検討してみたいと思う。(事務局)

(本協議事項は未採決となりました)

(7) 令和 8 年度地域公共交通計画認定申請書の変更申請及び令和 9 年度地域公共交通計画認定申請書の提出について

- ・ 事務局より資料説明

(採決)

- ・ 本議題について、承認いただける方は挙手をお願いします。(一同：挙手にて承認)

(8) i-バス、i-バスミニの見直しについて

- ・ 事務局より資料説明

(意見等)

- ・木曾川・北方コースのダイヤについて分かりづらいため、実際の表示はイオンモール木曾川から出発するようなダイヤの見せ方をしてほしい。
- ・各時刻表について、乗り継ぎの可否についても表示するようにしていただきたい。

(採択)

- ・本議題について、承認いただける方は挙手をお願いします。(一同：挙手にて承認)

(9) i-バスミニの今後の見直しの方針について

- ・事務局より資料説明

(意見等)

- ・i-バスミニの見直しについては以前より議論がなされているところではあるが、話が進まない。計画上はすでに実証運行が始まっている時期のはず。
- ・交通空白の解消に対する補助金などを利用することは考えないのか。
- ・詳細な方向性を定めるとあるが、それはこの会議で定めるべきものではないか。今日はもう時間がないので十分に議論が出来ない。この議題だけで会議を開催してもいいのではないか。
→ 検討させていただく。(事務局)

(10) i-バス停留所の移設について

- ・事務局より資料説明

(11) 一宮市・稲沢市・岩倉市による公共交通勉強会について

- ・事務局より資料説明

(意見等)

- ・稲沢市と岩倉市には公共交通計画がない。一宮市は公共交通計画に掲げ10年以上丹陽線について検討を行っている中で、計画に記載もない当該事業について推進していくことはおかしい話。この事業を推進する前に、丹陽線の検討をすべきであると個人的には考えている。(会長)

3. その他

(アジア大会に係る渋滞緩和のお願い：愛知運輸支局より)

4. 閉会